



2015年3月期 第3四半期

決算説明会



日本電産株式会社

2015年1月22日

－ 注意事項 －

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

（表紙の写真は、世界初となるSiC 搭載インバータによるマグネットレスモータ駆動システムのコンセプトモデル試作です）

連結決算業績

(単位:百万円)	13年度 第3四半期 (累計)	14年度 第3四半期 (累計)	増減	14年度 通期見込
売上高	646,725	753,766	+16.6%	1,000,000
営業利益 (営業利益率)	61,866 (9.6%)	80,727 (10.7%)	+30.5%	110,000 (11.0%)
税引前利益	62,525	81,309	+30.0%	108,000
当期利益	43,053	58,031	+34.8%	75,000
一株利益(円) [※]	158.96	209.27	+31.6%	269.64
対米ドル為替レート				
平均...	99.39円	106.87円	+7.5%	110.00円
期末...	105.39円	120.55円	+14.4%	(4Q想定レート)

※2014年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して「一株利益」を算定しております。

第3四半期(累計)決算ハイライト

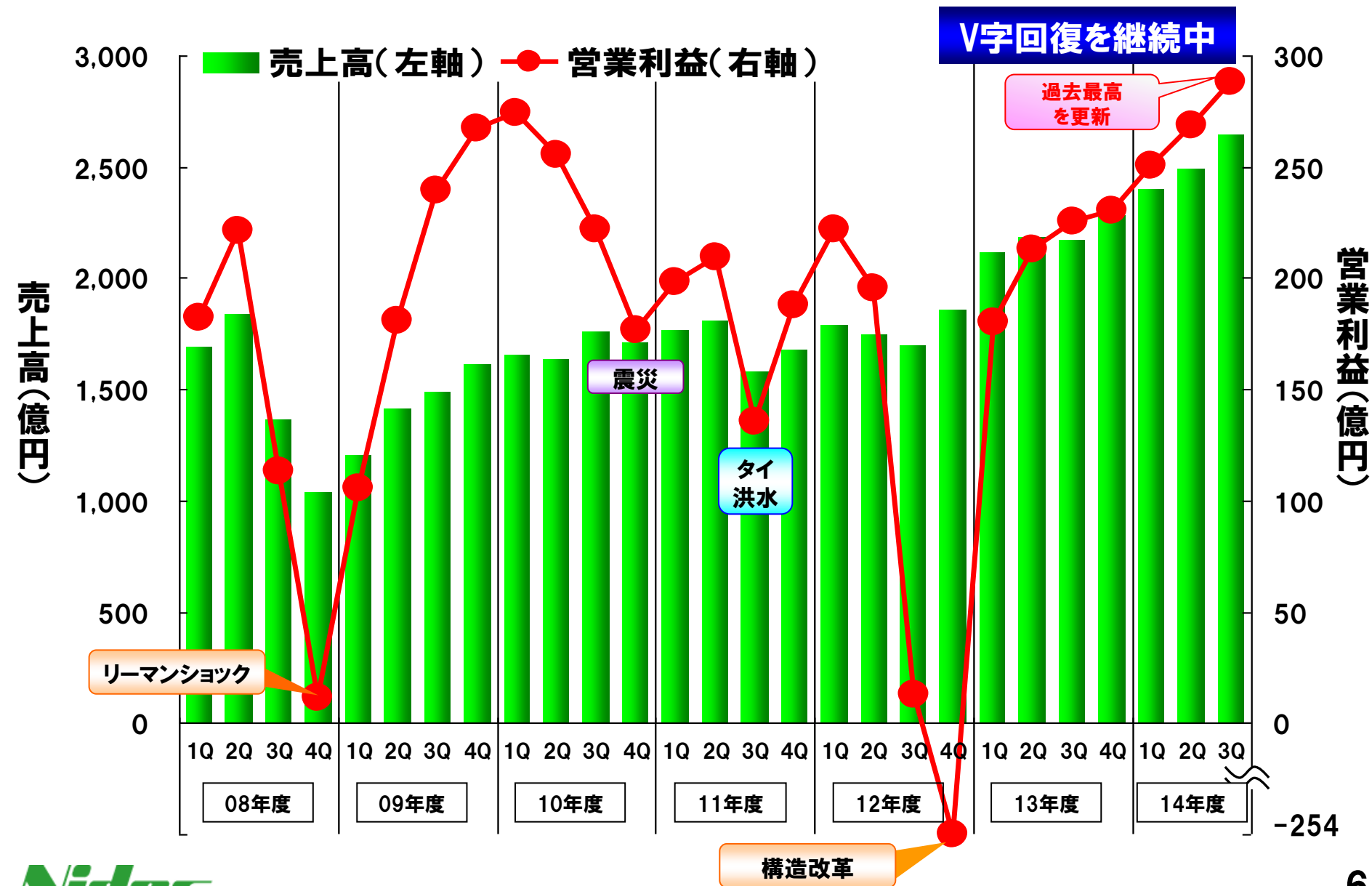
- **売上高、営業利益、税前利益**は四半期、9ヶ月累計共に**過去最高**を更新。
- 12年度の構造改革を経て、営業利益は**7四半期連続のQ/Q増益**となり**V字回復**を堅持。
- 業績予想を**上方修正**、配当予想を**増額**。

通期計画は、2回目の上方修正

(億円)	期初の 通期計画	1Q時の 上方修正	今回の 上方修正
売上高	9,500	9,600	10,000
営業利益	1,000	1,050	1,100
利益率	10.5%	10.9%	11.0%
税引前利益	980	1,030	1,080
当期利益	650	690	750
一株利益(円)	235.67	250.18	269.64
配当金(円)	55	60	70
想定レート	100円/\$ 135円/€	(2Q以降) 100円/\$ 135円/€	(4Q想定レート) 110円/\$ 135円/€

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高66.8億円、営業利益8.4億円、ユーロは売上高7.2億円、営業利益2.2億円（全てFY14通期ベース）。

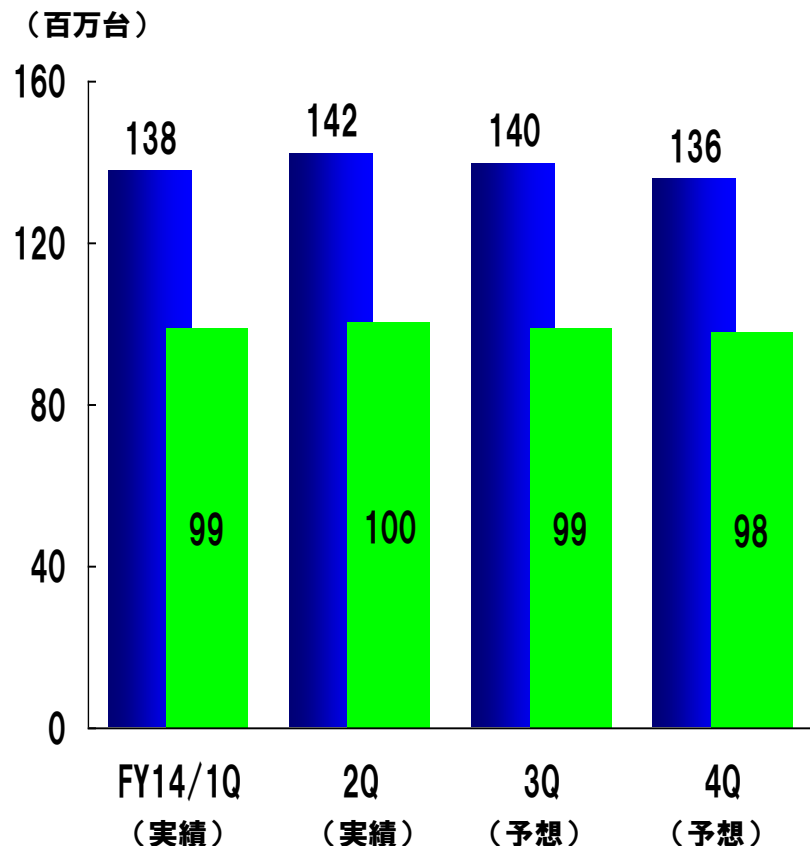
連結売上高・営業利益の四半期別推移



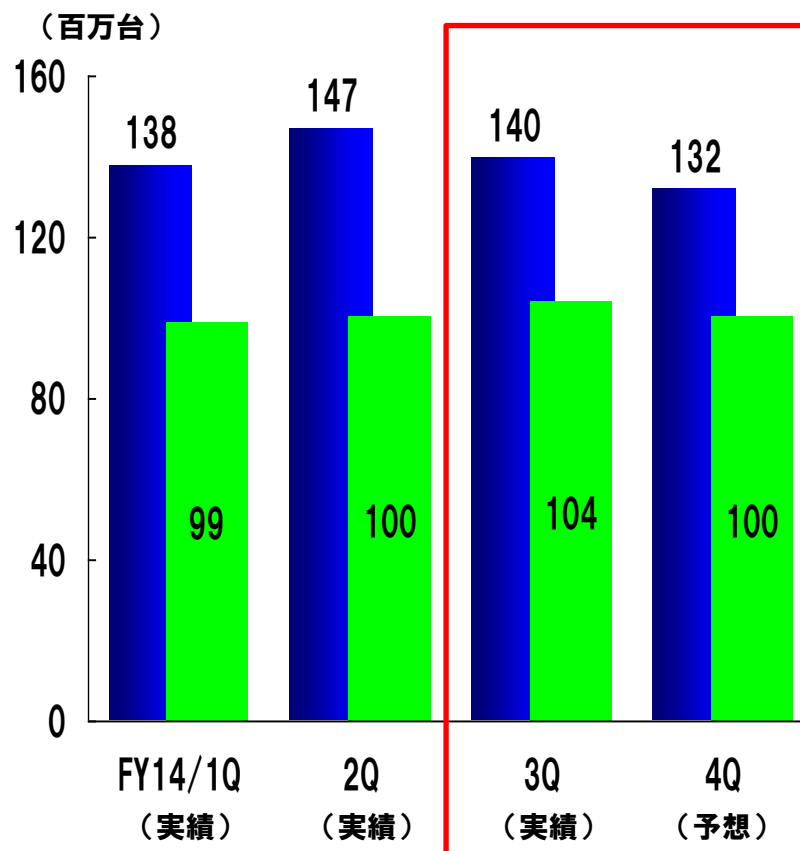
当社HDDモータの出荷台数目標見通し

当社モータ出荷は前回ガイダンスから僅かに上昇。競争環境に変化の兆し

＜前回のガイダンス＞
(2Q決算時)



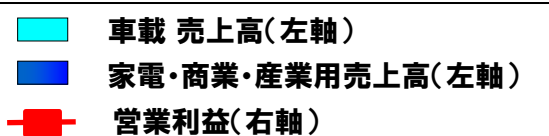
＜今回のガイダンス＞



(各種資料より日本電産推定)

車載及び家電・商業・産業用の四半期推移予想

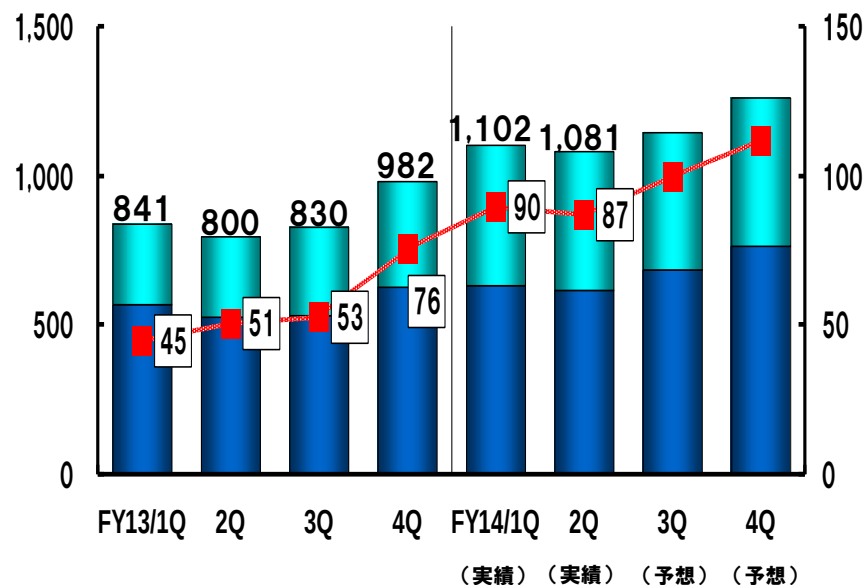
営業利益は着実なQ/Q増益トレンドを堅持



＜前回のガイダンス＞ (2Q決算時)

(売上高:億円)

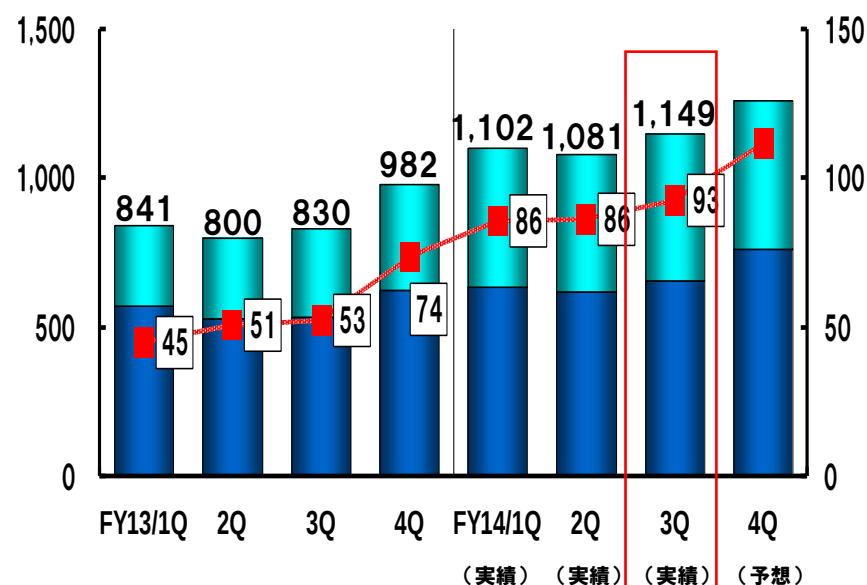
(営業利益:億円)



＜今回のガイダンス＞

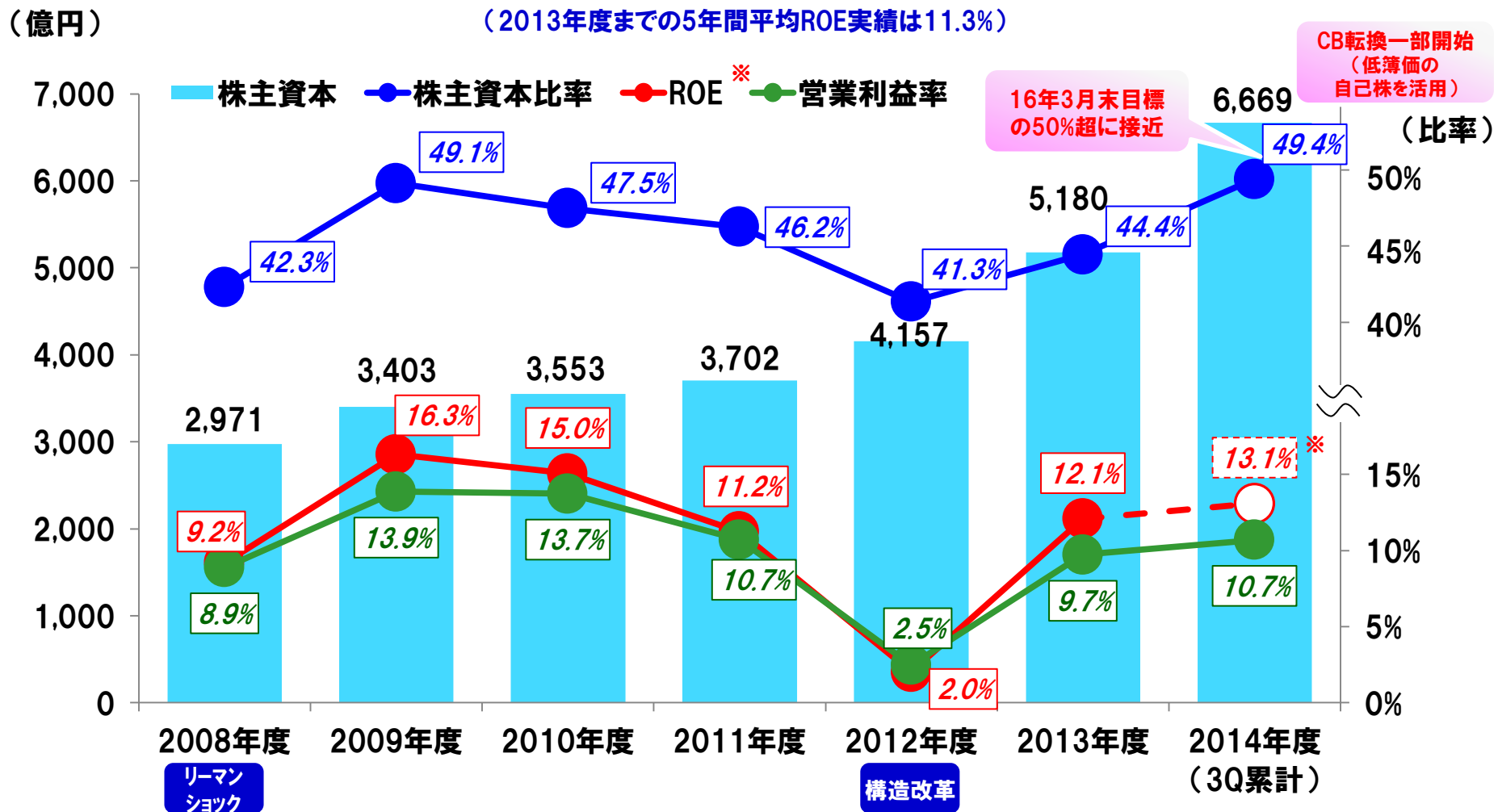
(売上高:億円)

(営業利益:億円)



営業利益率、ROE、株主資本比率の推移

財務規律を維持・向上させながら、営業利益率・ROE共に15%を狙う



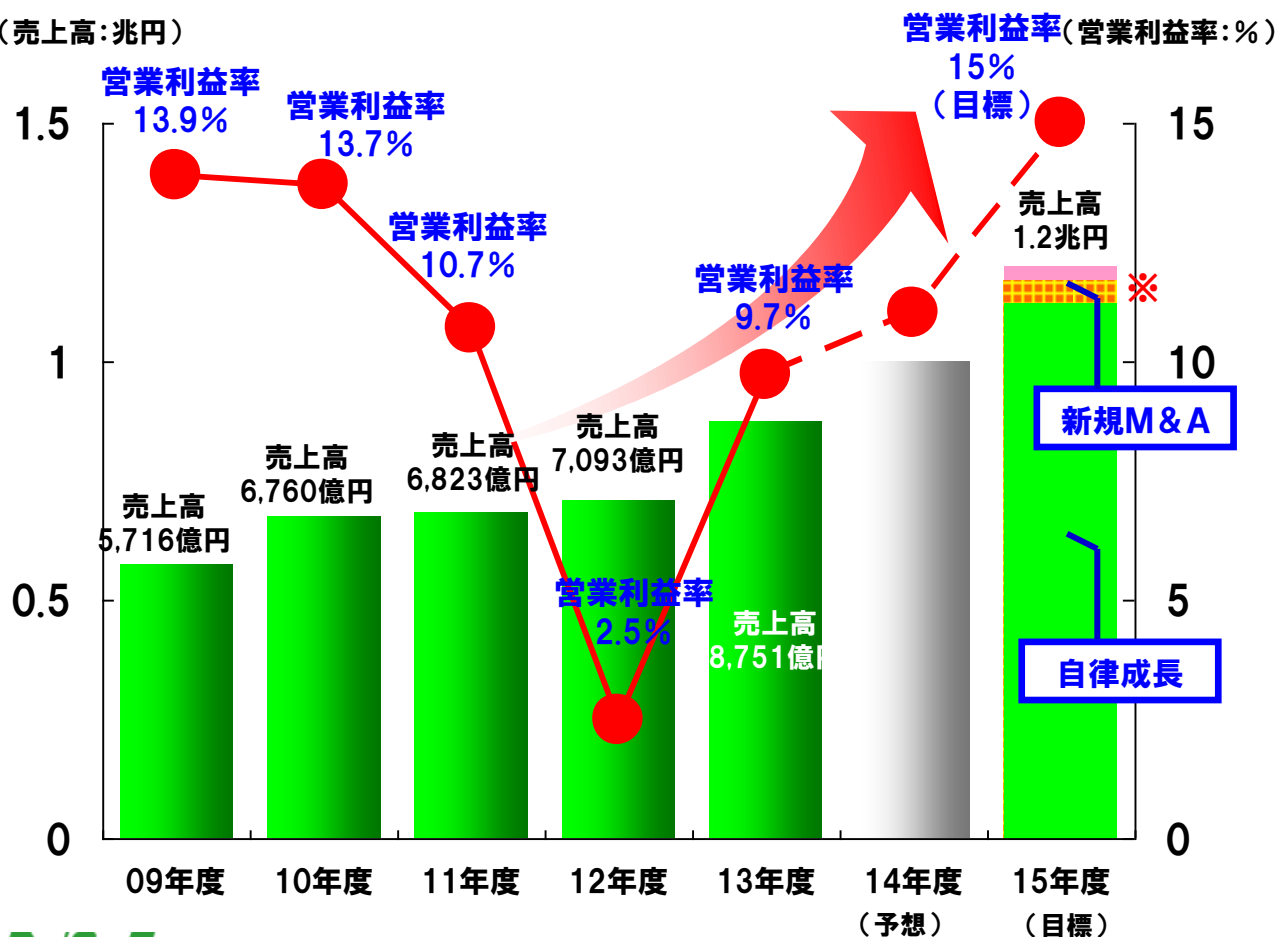
※2014年度3Q累計のROEは、分子となる当期利益を暫定的に年度換算して算出しています(3Q累計の当期利益÷3×4)

(2014年10月1日付けで、(株)日本格付研究所(JCR)は当社の長期発行体格付を従前のA+からAA-へ1ノッチ引き上げております)

中期戦略目標

100年後も成長し続けるグローバル企業の基礎作り
 利益ある成長でキャッシュを創出、成長と財務規律を両立させる

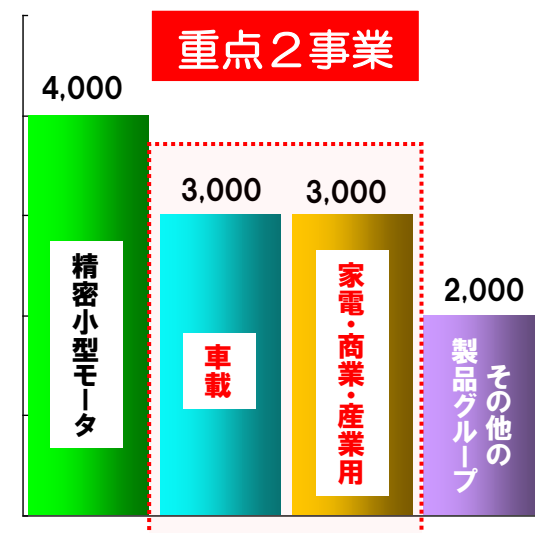
(売上高:兆円)



2015年度
 売上高:1.2兆円(目標)

4本柱

(売上高:億円)



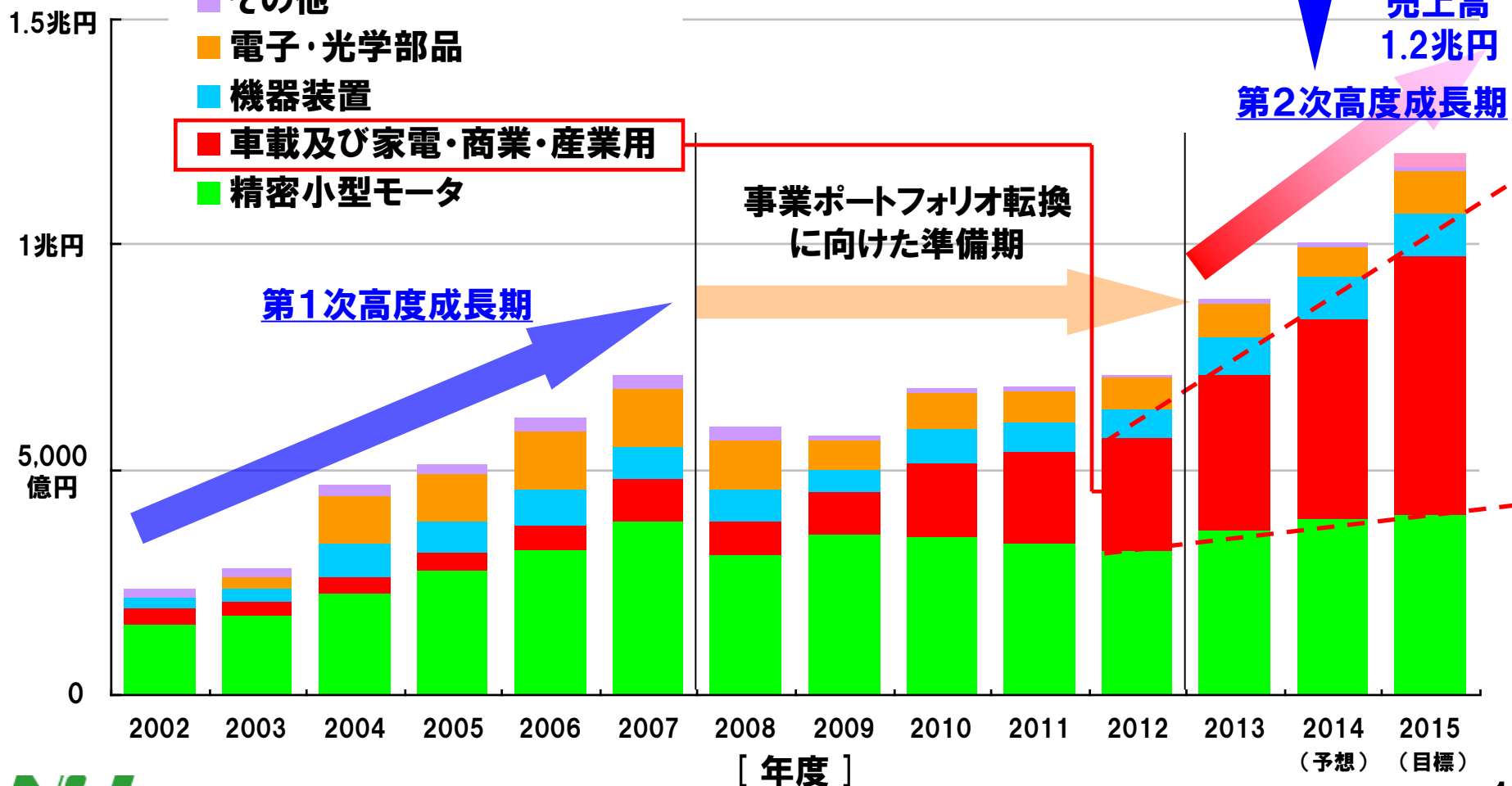
※独GPM社、並びにChina Tex MEEの売上高を反映

ポートフォリオの転換が成長スピードを加速中

大幅な成長路線へ再び回帰

[売上高]

- 新規M&A
- その他
- 電子・光学部品
- 機器装置
- 車載及び家電・商業・産業用
- 精密小型モータ

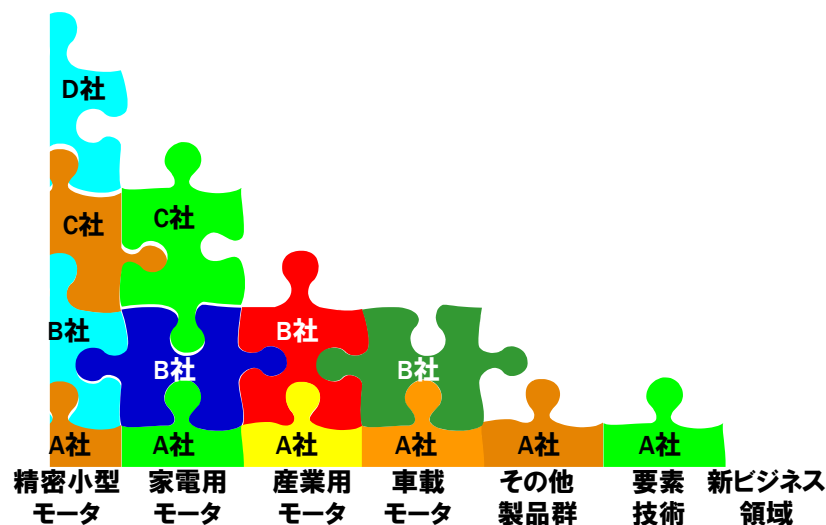


M&Aは2030年度10兆円企業実現に向けた手段

パズルの完成図を構想し、今後も着実にピースを埋める

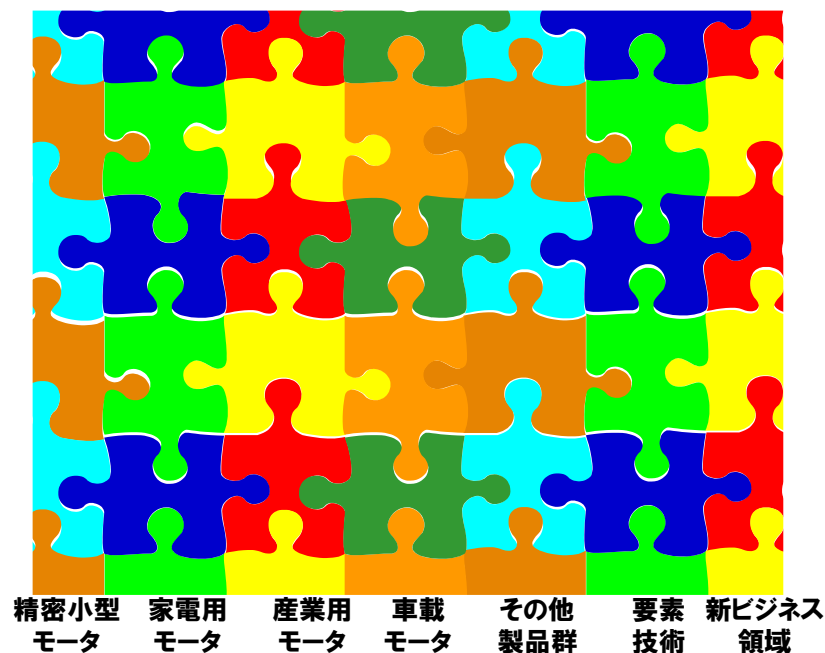
現時点(イメージ)

モーターメーカー



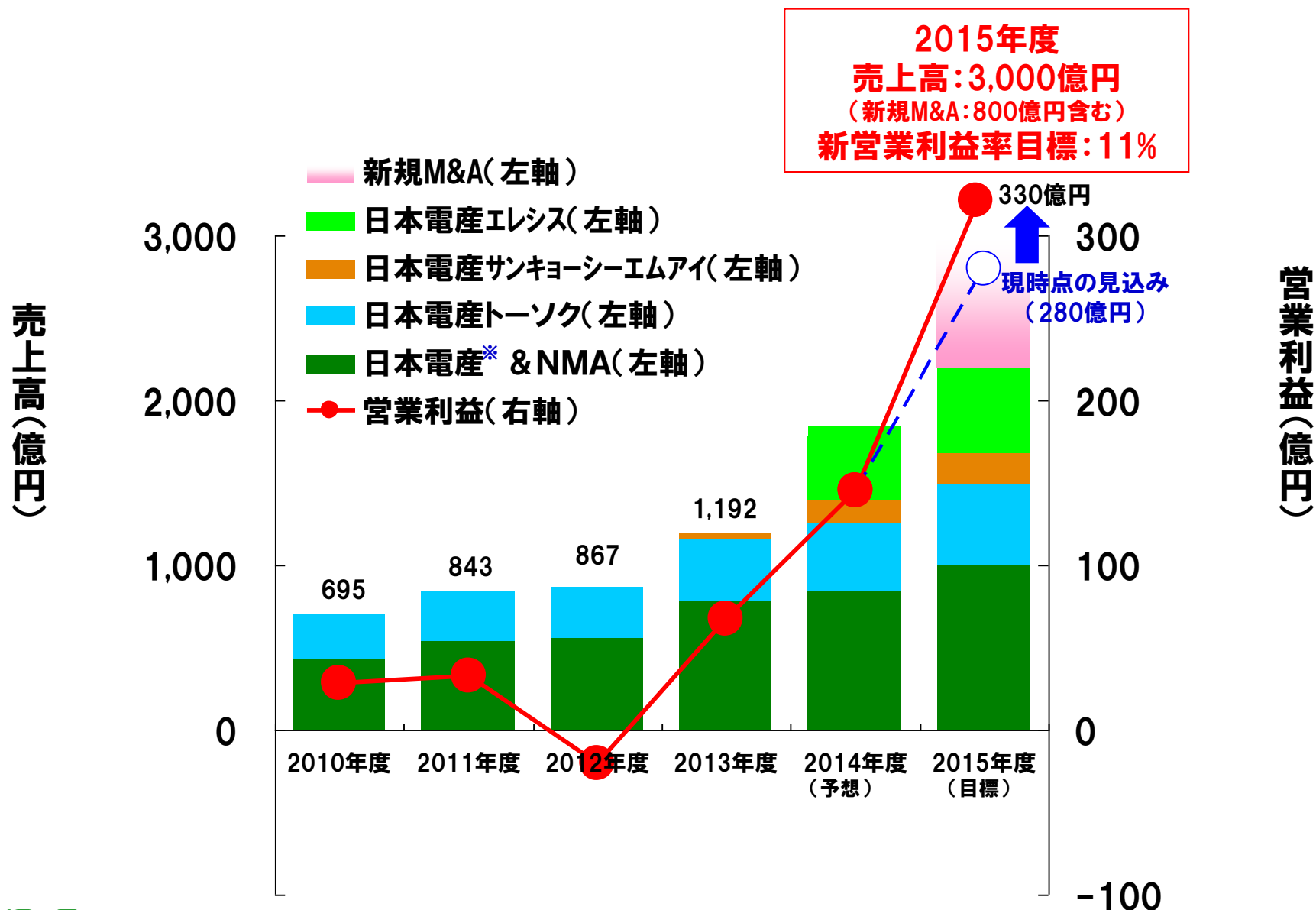
中長期の完成図(イメージ)

グローバル電機メーカー



技術革新によって新たに必要とされる領域を埋め、シナジーの最大化を図る

車載の中期事業計画



※従来の日本電産本体分に加えて、日本電産自動車モータ・アメリカ分を含む。

車載モジュール化戦略は着実に進展中

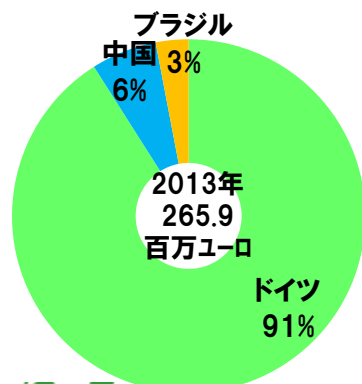
モータとポンプを組み合わせた高性能電動ポンプを投入、受注を拡大

ゲレーテ・ウント・フンペンバウ(GPM)社を買収※

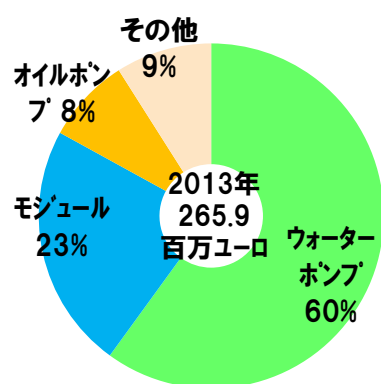
■本社	マーベルスロット(独テューリンゲン州)
■設立	1939年
■主要拠点	ドイツ、ブラジル、中国
■事業内容	乗用車・商用車向けポンプ及びモジュールの開発・製造・販売
■従業員数	1,047人※※
■売上高	265.9百万ユーロ ※※

※ 2015年2月クロージング(予定)
 ※※ 13年12月期のデータです

拠点別売上高

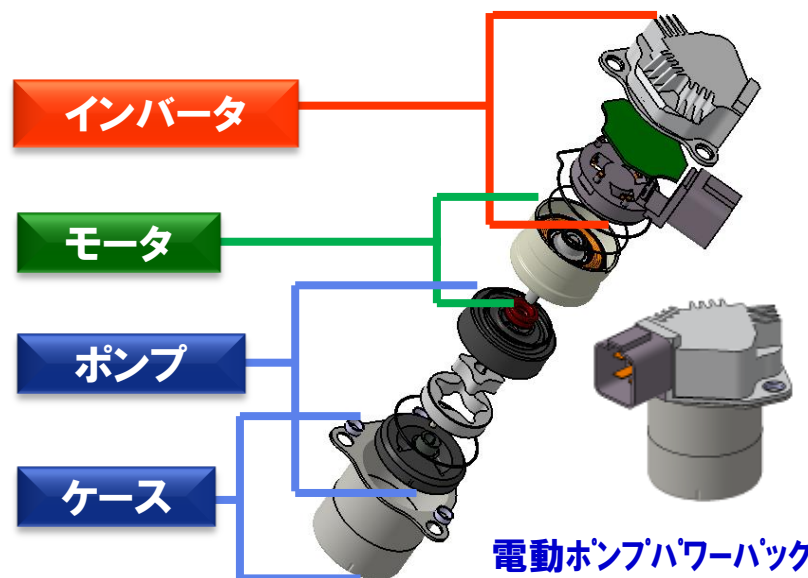


セグメント別売上高



Nidec グループのシナジーを結集した
 電動オイルポンプ/ウォーターポンプの
 パワーパック事例

	日本電産エレシス
	日本電産
	GPM、日本電産トーソク

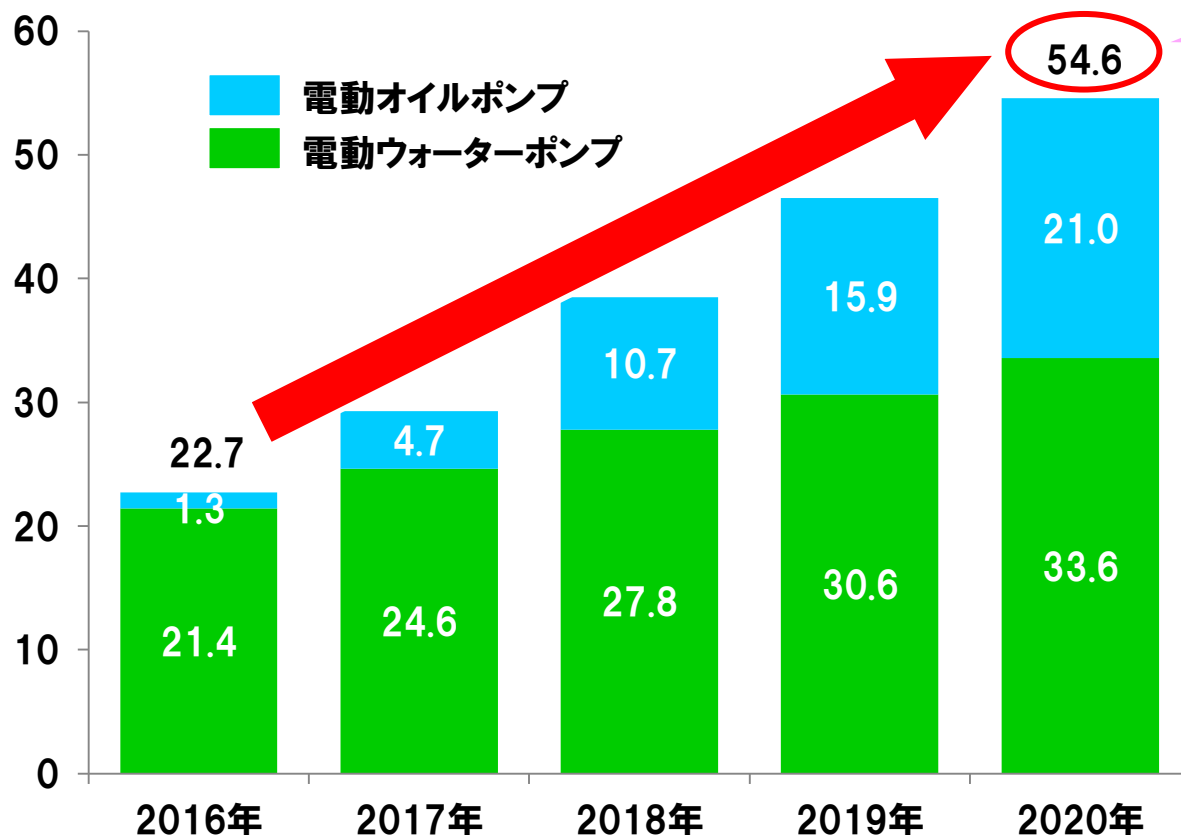


電動ウォーターポンプ、電動オイルポンプ市場

技術革新により、2016年からの4年間で市場規模2倍超へ急拡大

(百万台)

世界電動ポンプ市場の台数予測



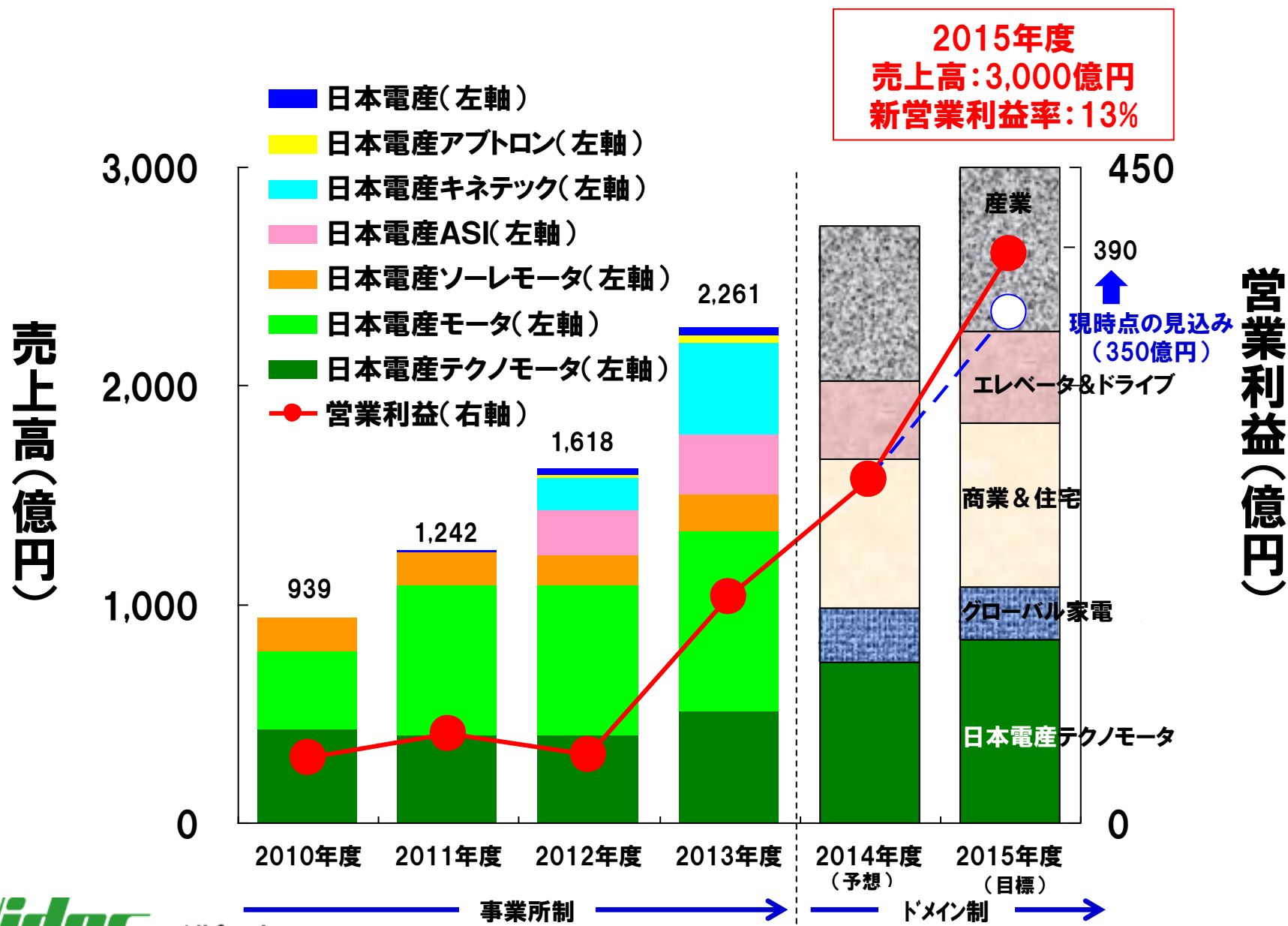
世界の自動車の2台に1台が
電動ポンプを搭載

電動ポンプの主な用途

- ① アイドリングストップ用
エンジン冷却
- ② 4WD用駆動切換え・左
右輪トルク配分
- ③ デュアルクラッチトラン
スミッション用クラッチ
作動・トランスミッション
冷却

(各種資料より日本電産推定)

家電・商業・産業用の中期事業計画



当社エレベータ事業の実績(ODM)

主要なエレベータ販売実績～高スピードから注目案件まで

高スピード



Hiranandani Bayview
インド、チェンナイ



Celtis
中南米、メキシコシティ

公共施設



自由の女神
米国ニューヨーク



Epping & Thomastown
Railway Station
メルボルン、オーストラリア

商業施設



Luxen Plaza
バク、アゼルバイジャン



ITTC Shopping
Mall
カタール、中東



注目を集める案件



North Field Alpha
(offshore MRL)
カタール、油田発掘現場



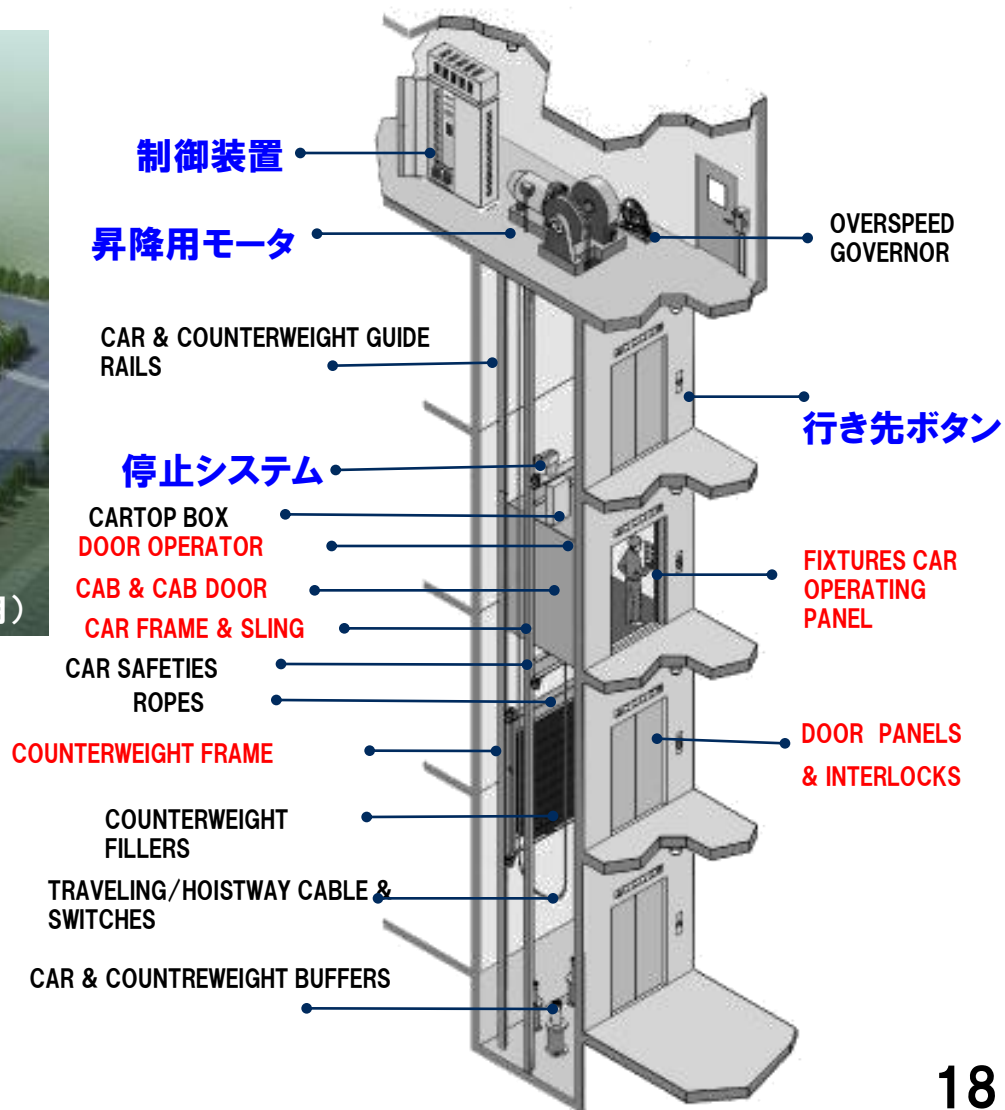
Everyman Theatre
リバープール、イギリス

中国・青島にエレベータ会社を設立

部品サプライヤーから、ソリューション・プロバイダーへと進化



既存内製品 …青字
主要部品(垂直統合が可能) …赤字
周辺部品(外部調達) …黒字





お問い合わせ先
日本電産株式会社 広報宣伝・IR部
IRグループ
Tel: 075-935-6140
E-mail: ir@nidec.com

※注記:

1. FASB Accounting Standards Codification™ (ASC) 805「企業結合 (Business Combinations)」の規定を適用しております。前年度に買収を実施した三菱マテリアルシーエムアイ株式会社(現日本電産サンキョーシーエムアイ株式会社)及び株式会社ホンダエレシス(現 日本電産エレシス株式会社)にかかる取得した資産、引き継いだ負債の公正価値評価が当第3四半期に完了致しました。これらにより前第4四半期連結会計期間及び2四半期連結累計期間の連結財務諸表を遡及修正しております。
2. 当第3四半期より「車載及び家電・商業・産業用」製品グループに含まれていた基礎研究費を「全社費用」へ含めており当年度の数値を組替えております。

業績推移・ 製品グループ別 状況

製品グループ別売上構成(9ヶ月累計)

()内のパーセントは前年同期の構成比率

物流・サービス他、
オルゴール関連商品

その他

電子・光学部品

カメラシャッター、スイッチ、
トリマポテンショメータ、
部品加工、樹脂成型品

機器装置

産業用ロボット、
基板検査装置、高速プレス
機器、チップ実装機、計測
機器、変減速機、FA機器、
カードリーダー

車載及び家電
・商業・産業用

44.2%
(38.2%)

0.7%
(0.9%)

6.5%
(8.9%)

9.4%
(9.8%)

家電・
商業・
産業用

25.4%
(25.3%)

車載

18.8%
(12.9%)

HDDモータ
19.7%
(21.5%)

19.4%
(20.7%)

精密小型モータ

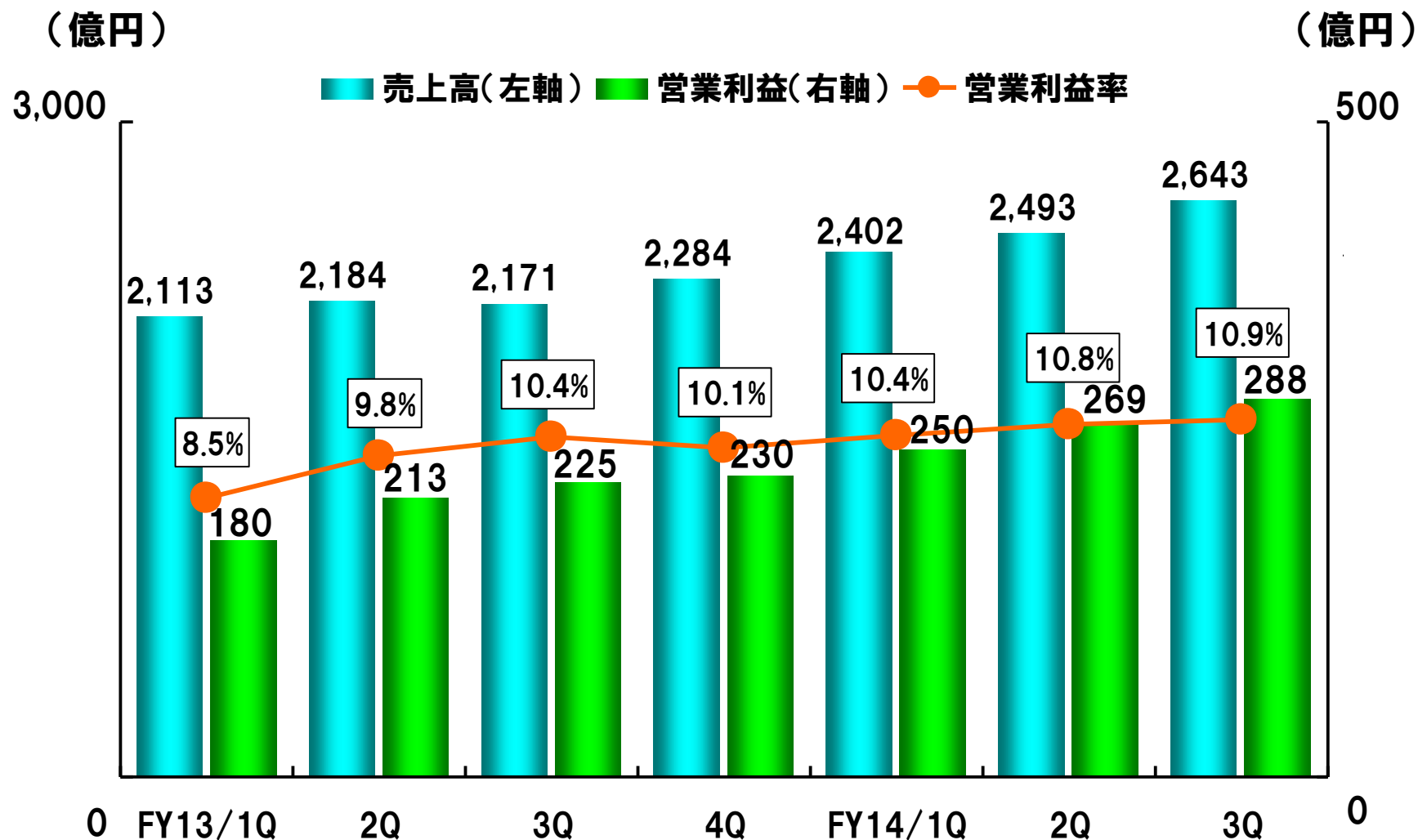
39.1%
(42.2%)

その他小型モータ

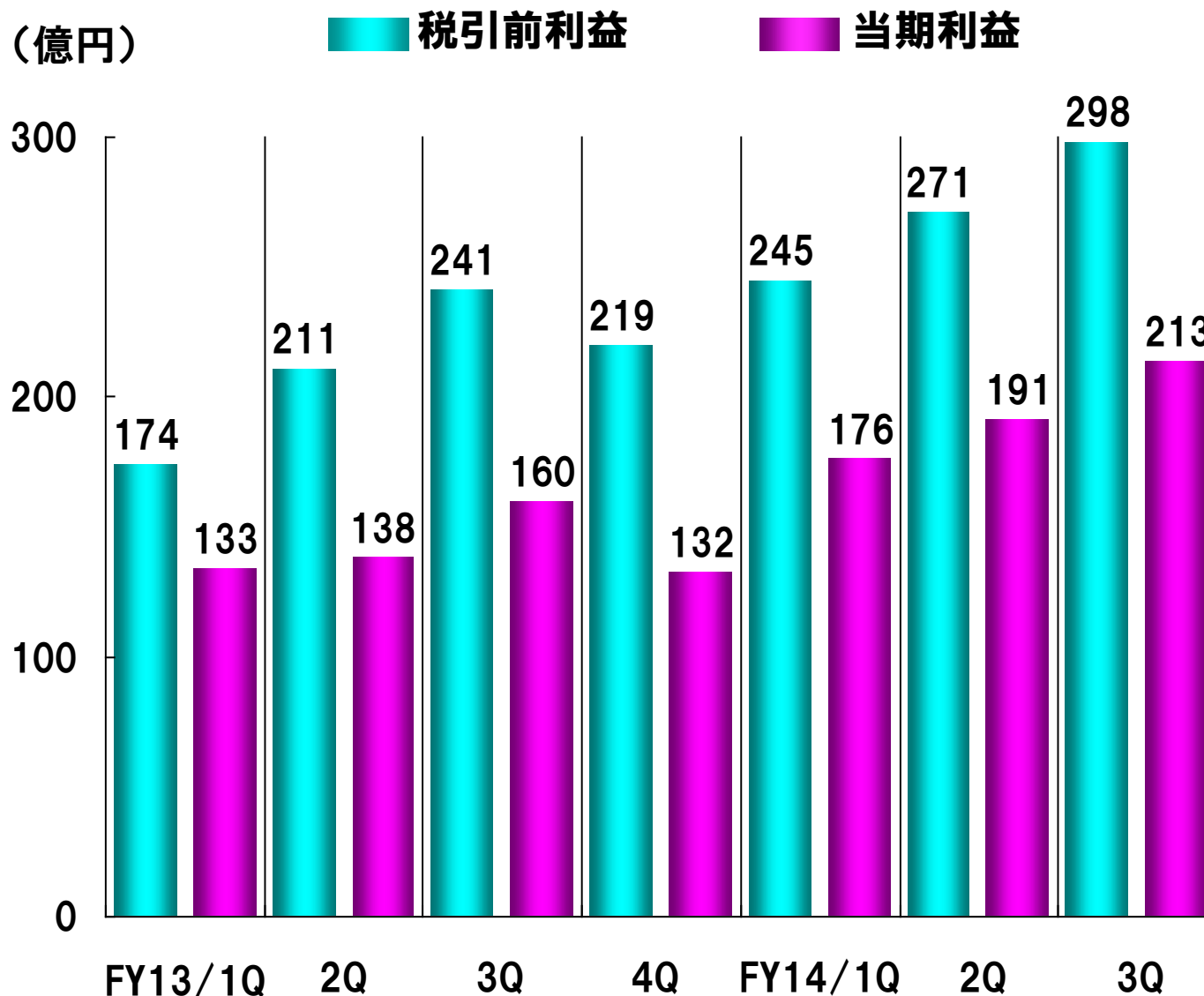
光ディスク装置用モータ、
OA機器用モータ、
ポリゴンレーザスキャナ用
モータ、
MPU冷却用ファン、
ゲーム機用ファン、
PC・通信機器用ファン、
家電用ファン、
自動車用ファン、
携帯電話用振動モータ、
ブラシ付モータ、
ステッピングモータ、
モータ駆動ユニット

7,538億円

売上高・営業利益の推移



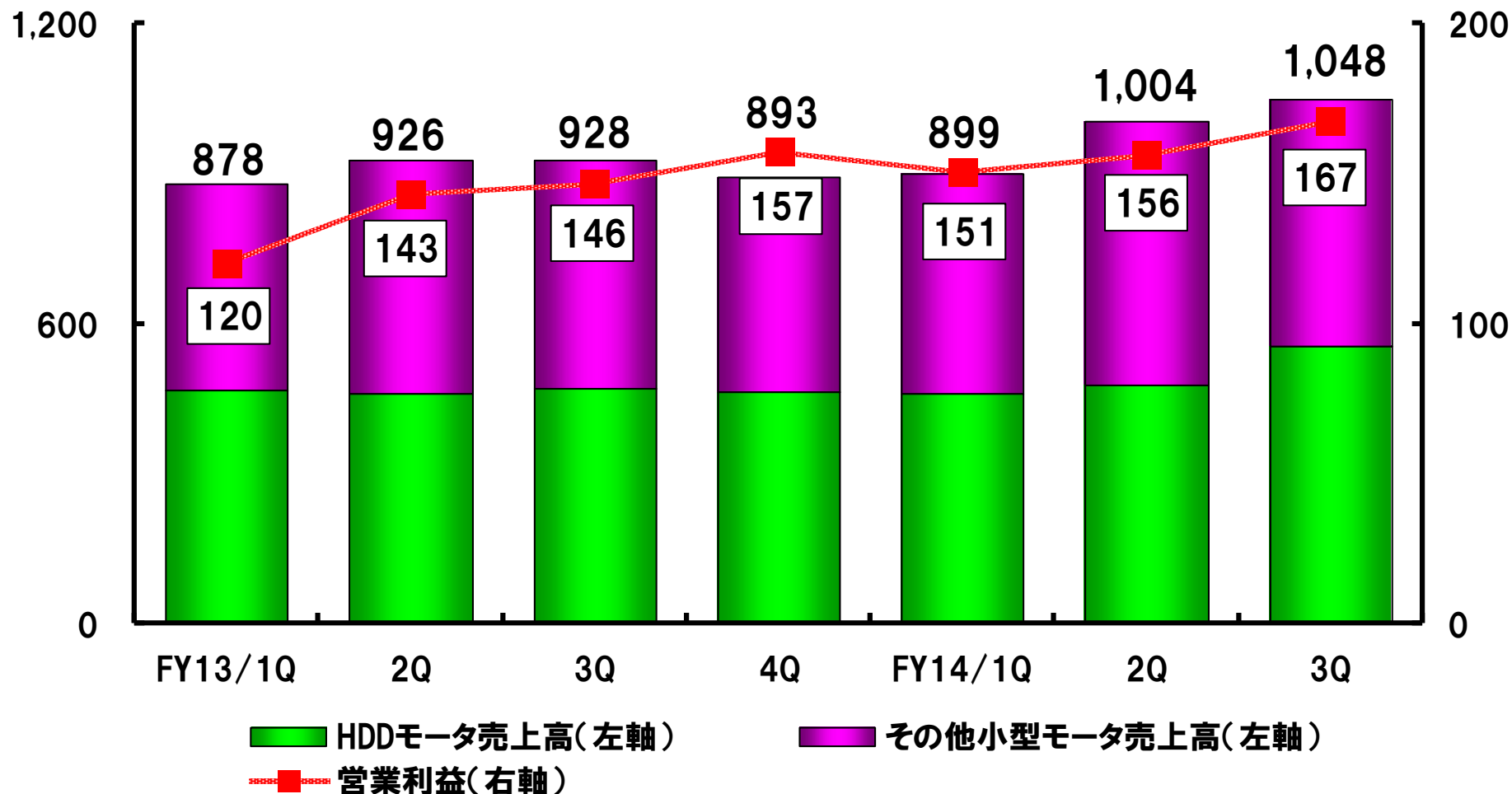
税引前利益・当期利益の推移



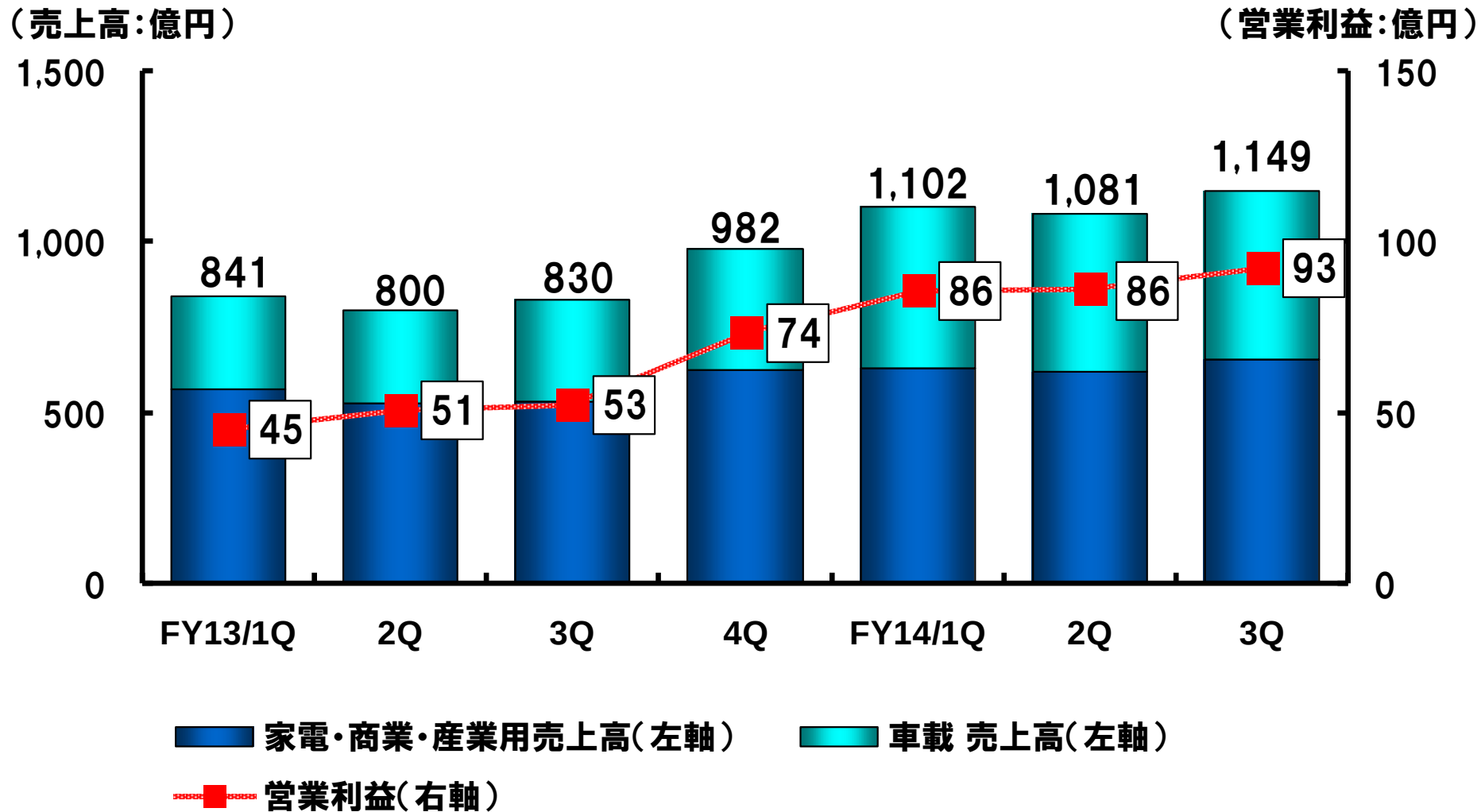
精密小型モータ

(売上高:億円)

(営業利益:億円)



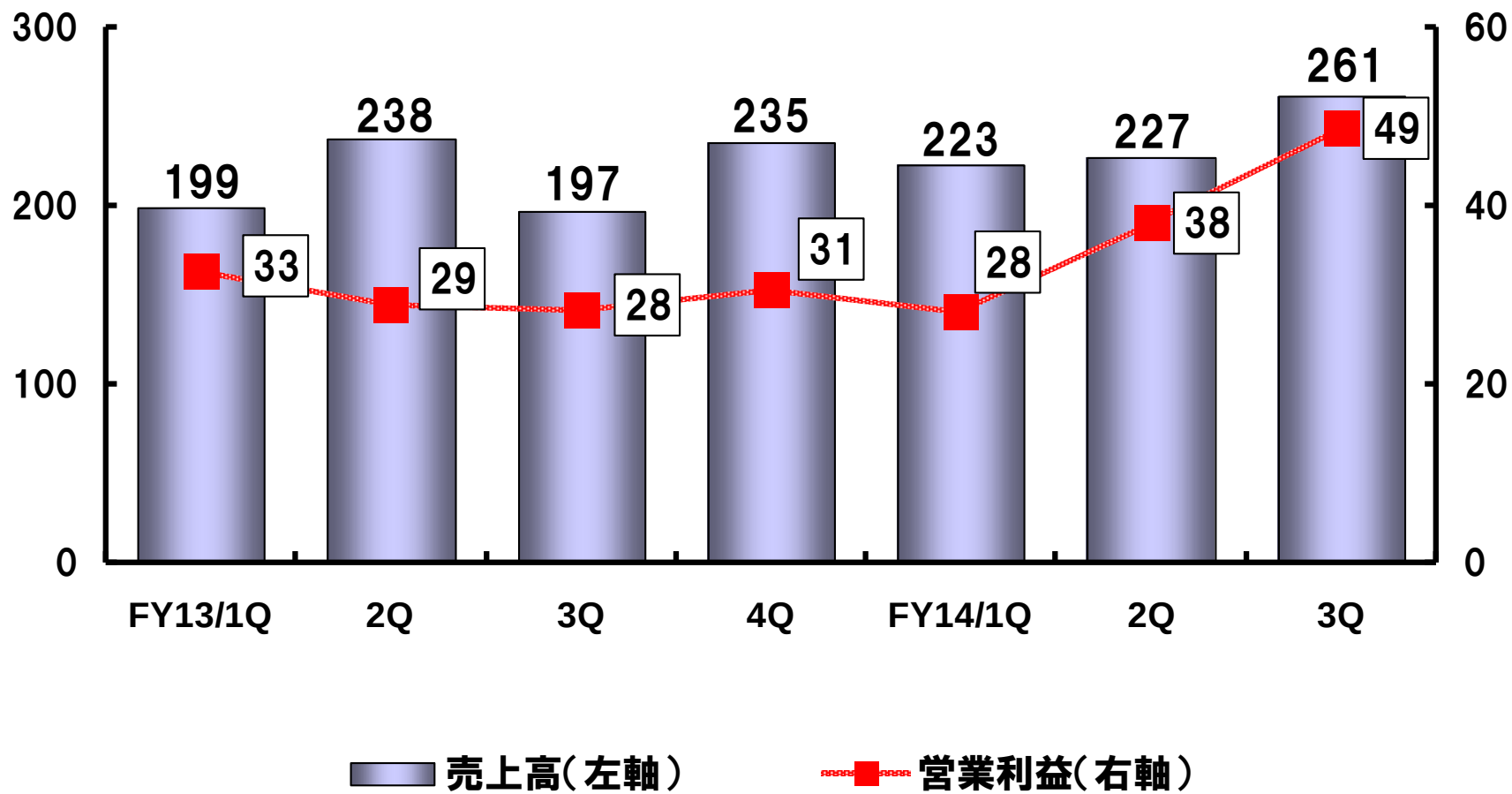
車載及び家電・商業・産業用



機器装置

(売上高:億円)

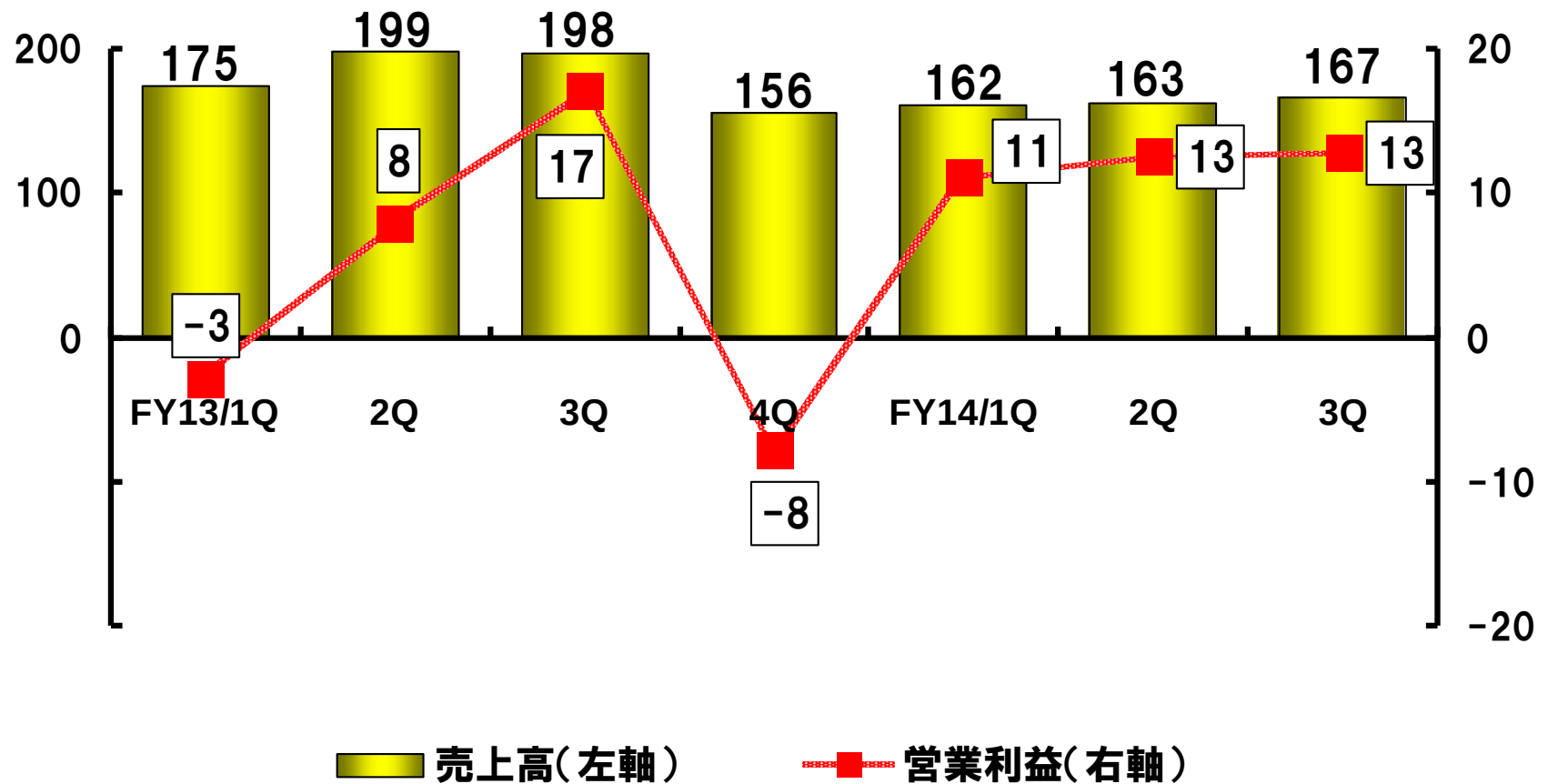
(営業利益:億円)



電子・光学部品

(売上高:億円)

(営業利益:億円)



その他

(売上高:億円)

(営業利益:億円)

